

ICS300 課題探求プロジェクトⅢA

3年 1,2クォーター

担当教員	寺岡英男, 伊藤 勇, 横井正信, 木原泰紀, 木村 亮, 岡崎英一, 松田和之, 月原敏博, 皆島 博, 細谷龍平, JANNUZI CHARLES EDWARD, KING KELLY JEAN, 井上博行, 永井崇弘, 羽田野慶子, 今井祐子, 磯崎康太郎, 生駒俊英, 東村純子, 田中志敬, 栗原知子, 飯田健志, 中村友哉
授業形態	演習
アクティブ・ラーニング	アクティブ・ラーニング科目
単位数	2
曜日・時限	水曜日・3～5時限

授業概要

地域創生アプローチを選択する学生は、原則として「ⅢA」, 「ⅢB」と通年でプロジェクトに取り組む。この授業では、現場の課題への具体的な取組みにより、学生が自己の能力発揮を通じて成長を遂げるとともに、チームでの取組みの中で自己の学びの展開に重点を置く。学生は、テーマ毎にチームを組んで、それぞれ連携する企業や自治体、地域の諸団体等の人々と共に特定の課題に本格的に取り組む、課題解決の一助となる支援や提案を行うことを目標に活動する。「ⅢA」では企業や自治体が提供した課題、または学生チームと企業・自治体等が協議して決定した課題について、必要な法規や情報、課題に関連する学問分野の内容について文献学習や教員、ゲストスピーカーのレクチャーによって学び、予備的な調査を行ったり、後半の調査・分析・発案の内容やスケジュールを企画したりする。

グローバルアプローチを選択する学生は、「ⅢA」は3年次後期の留学を控えた学生向けに開講される。「課題探求プロジェクトⅠ」および「課題探求プロジェクトⅡ」で学習した内容を踏まえて、自治体の外国人担当部局や商工観光関連部局と連携して、具体的な事案や観光商品開発等について改善提案を行う。

到達目標

- (1) 地域における企業、自治体、団体等の組織やその目的、およびそれらが直面する課題について構造的に理解し、具体的な課題の解決に向けて実践するための企画を立案する。
- (2) 現場で活動したり就業している人々と直接に議論することを通して協働の体験を身につける。

先修科目

課題探求プロジェクトⅡ, 現代社会科目(発達)の複数科目, 多文化理解科目の複数科目, 日本理解科目の複数科目, 総合科学科目の複数科目
※同時並行で学ぶ科目: 現代社会科目(地域)の各科目

教科書・参考資料等

全体に関わる教科書はない。
連携先や課題に応じて適宜文献を紹介する。

授業の方法

教室でのグループワーク, レクチャー, および学外での活動への参加, および調査を中心とする。活動や調査の事前準備・事中の打合せ・事後の総括のため, 授業が行われない週, あるいは空き時間に学生はグループで集まり議論や作業を行う必要がある。

成績評価

活動途中, および最終プレゼンテーション後に提出するレポートおよび, 取組みへの態度に関する学生間のピアレビュー・教員による観察評価

成績

- 80% レポート
- 20% 取組みへの態度に関するピアレビュー・観察評価

授業スケジュール

(1回の授業は、隔週1回2コマ連続を原則とするが、実施が1日にわたる場合ないし土日に実施される場合がある。また、授業の予定されていない週については、学生が事前準備や事後討論のためのグループワークを実施するほか、テーマごとに相手先の都合も配慮して弾力的に授業日を変更する)

<地域創生アプローチ>

第1回：授業ガイダンス、行動計画の立案

学生の希望を考慮しながら、連携先のキャパシティに応じて3～6人程度の小チームを編成し、企業、自治体、団体等での学生の取組みについて計画を立てる。

第2～3回：具体的な課題の検討

連携先と協議を行い、具体的に解決すべき課題ないし企画の方向性を検討する。

第4～5回：レクチャー、討議

検討中のテーマについて、必要な法規や情報、文献に関連するレクチャーを教員およびゲスト講師が行い、学生は事前学習を踏まえて討議する。

第6～7回：予備調査ないしプレ企画の設計、実施

第8回：プロジェクト中間報告

取組み中のプロジェクトの概要と進行状況、課題を全体で報告する。

<グローバルアプローチ>

第1回：授業ガイダンス、行動計画の立案

海外に福井の魅力を発信するための観光商品開発の提案を行うために、自治体の商工観光関連部局や外国人担当部局と連携するための行動計画を立てる。

第2回：具体的なテーマの検討

連携先と協議を行い、企画の方向性について検討する。

第3回：レクチャー、討議

現在の福井の観光企画について、教員およびゲスト講師がレクチャーを行い、学生は事前学習を踏まえて討議する。

第4回：実地ヒアリング

事前学習やレクチャーを踏まえて、観光企画を扱う企業や団体等への実地ヒアリングを実施する。

第5～6回：観光企画の立案

外国人に魅力的な観光企画について検討し、実地調査を行う。

第7回：観光企画広報媒体の作成

学生が考えた観光企画案を、Webページの形で作成する。

第8回：プレゼンテーション

連携先に企画を報告し、Web掲載について協議する。

事前・事後学習

①各回の授業で指示された内容について、個人およびグループで調査および討議を行い、次回の授業の準備を行う。(予習)

②最終レポート作成に備えて各自毎回の授業および活動の振り返りを行う。(復習)